

ポカミスゼロへのアプローチ

～ポカミスは23の要因で発生し、23の対策でゼロ化できる～

日 時

2025年11月5日(水)

10:00～17:00
(9:30 受付開始)

※昼食のご用意がございませんので、ご準備いただくか休憩時間内に外食いただきますようお願い申し上げます。(休憩時間の会場内飲食は可能)

会 場

日刊工業新聞社 名古屋支社 セミナールーム / オンライン(ZOOM)

講 師

大谷 みさお 氏

株式会社ロンド・アプリウェアサービス

受講料

48,400円(資料含む、消費税込)

※日本金型工業会、中部プラスチック連合会の正会員の方は15%割引とさせていただきます。

受講効果

- 【1】23社で、わずか3カ月でポカミスゼロにした実践的手法が学べます。
- 【2】ポカミス教育・ビデオ標準・集中マネジメント・AI活用による最新手法と、2Sと標準化という従来手法の組み合わせでポカミスゼロを維持できるようになります。
- 【3】AIとビデオ標準によるシステム援用により現場のモラルアップにつながります。

プログラム

1. ポカミスゼロへのアプローチ

1-1 基本的な考え方

- ・ポカミスとは
- ・ポカミスは3つの発生プロセス
- ・脳の機能
- ・集中力マネジメント
- ・ポカミス23の要因
- ・ポカミス23の対策
- ・対策の責任区分

1-2 知らなかった対策

- ・ポカミス教育
- ・ポカミスの影響と損害
- ・NG/OKシートの作成
- ・報告書より対策
- ・ポカミス掲示板
- ・ポカミスの顕在化

1-3 標準整備

- ・標準の実態
- ・ない標準を作る
- ・標準の7つの不備を解消する
- ・教育・訓練のしくみづくり

1-4 うっかり対策

- ・記憶ミス対策
- ・自主休憩
- ・体調管理
- ・都合管理
- ・環境改善

- ・やりにくさの改善
- ・余裕を持った生産計画
- ・整理・整頓
- 1-5 判断ミス対策
- ・AIアドバイザーの活用
- ・検査作業改善

2. 実践2Sへのアプローチ

2-1 ポカミスにおける整理・整頓の意味

2-2 更地化：短時間（1日）で効果が出る実践法

3. 標準整備へのアプローチ

3-1 標準整備の7ステップ

3-2 ステップ概説

4. ビデオ標準作成へのアプローチ

4-1 新たな教育・訓練のしくみづくり

4-2 ビデオ標準+AIアドバイザーで標準順守、多能工化、技能伝承を可能にする

4-3 ビデオ標準作成の7ステップ

4-4 教育・訓練運用ポイント

5. モラルアップへのアプローチ

5-1 モラルとは：行動規範

5-2 モラルマネジメント11の施策

受講にあたり

開催決定後、受講票並び請求書をメールで送付いたします。
※必ずメールアドレスをご記入いただきますようお願い申し上げます。
申込者が最少催行人数に達していない講座の場合、開催を見送りとさせて頂く場合がございます。(担当者より一週間前を目途にご連絡致します。)

お申し込み方法

ホームページ (<https://corp.nikkan.co.jp/seminars/search>) または、別紙申込書をご記入のうえFAXにてお申し込みください。

受講料

セミナー開催日までに銀行振込にてお支払いください。
振込手数料は貴社でご負担願います。

キャンセルポリシー

開催日1週間前までの受付とさせていただきます。1週間前までにご連絡がない場合はご欠席の方もキャンセル料として受講料全額を頂きます。

